

平成 26 年度 環境計量士等研修会報告（アンケート結果）

教育・研修委員会

1. 研修内容

○日時：平成 23 年 11 月 11 日（火）

○場所：日本特殊陶業市民会館 3 階 第 1 会議室

○受講者：36 名（申し込み 37 名）

[参考：H25_38 名、H24_38 名、H23_34 名、H22_38 名、H21_50 名]

○プログラム：以下に示す。

時 間	演 題	講 師 等
09:30 ~ 09:50	受 付	
09:50 ~ 10:00	開講挨拶	(一社) 愛知県環境測定分析協会 代表理事 河野 達郎 氏
	来賓挨拶	愛知県環境部 技監 伊藤 和己 氏
10:00 ~ 11:00	県民みんなで未来へつなぐ環境首都 あいちの取組 ～大気環境対策を中心に～	愛知県環境部大気環境課 主幹 福永 泰生 氏
11:00 ~ 12:00	大気汚染防止法の改正について ～石綿飛散防止対策の強化～ 大気環境に関する規制を巡る国の動向	愛知県環境部大気環境課規制 G 主査 熊谷 禎晃 氏
12:00 ~ 13:00	＜昼食休憩＞	
13:00 ~ 14:35	騒音計と精度管理について	瀋陽薬科大学 教授 (株) エーアール代表取締役 福原 博篤 氏
14:35 ~ 14:45	＜休 憩＞	
14:45 ~ 15:15	最新の GC/MS 分析とその動向	アジレント・テクノロジー(株) 穴沢 秀峰 氏
15:15 ~ 15:45	コアシェル型 HPLC カラムの原理、 特徴について	アジレント・テクノロジー(株) 松下 邦明 氏
15:45 ~ 15:50	閉 講 挨 拶	服部委員長
15:50 ~ 16:20	協賛会員製品紹介コーナー	アジレント・テクノロジー(株) 大久保 和憲 氏
16:20 ~ 16:30	修了書交付	

2. アンケート調査

2-1 アンケート調査票（別紙 1 参照）

調査票は、参加者 36 名中 33 名から回答をいただいた。（回収率 92%）

2-2 アンケート調査結果（詳細は別紙2参照）

2-2-1 Q.1 今回の研修会の内容について所感をお書き下さい。

Q.1-1 特に興味があったもの、役に立つと思ったもの

愛知県環境部の大気行政関係及び騒音計に関する講演が好評であった。

演 題		回答数	比率
AM	県民みんなで未来へつなぐ環境首都あいちの取組 ～大気環境対策を中心に～	18	54.5%
	大気汚染防止法の改正について ～石綿飛散防止対策の強化～ 大気環境に関する規制を巡る国の動向	9	27.3%
PM	騒音計と精度管理について	14	42.4%
	最新の GC/MS 分析とその動向	4	12.1%
	コアシェル型 HPLC カラムの原理、特徴について	1	3.0%

※重複回答あり

<代表的なコメント>

- 今後の動向、改正の背景等が分かり有意義でした
- 法改正のあった事項がわかりやすくまとめてあり、役に立ちました
- 現在、国・県のおかれている環境状況がわかった
- 業務上あまり関係ない演題もありましたが、講師の説明も分かりやすく面白く有意義でした
- 法令に関する内容、普段なかなか聞くことのできない騒音計の歴史、メーカーからの機器紹介とバランスのいい内容でした
- 最新の法規制動向や分析技術を聞くことができ、大変役に立ちました
- 騒音・大気・分析機器など幅広いテーマであって、それぞれ役に立ちよかったです
- 福原先生のお話を直接聞くことができたのは、非常に貴重な経験でした
- GC/MS、LC 等の最新情報は有益。今後の機器導入等の参考になりました

Q.1-2 研修会全般について

概ね好評であった。なお、改善要望に分類される意見が9名から寄せられたが、いずれもクレームのレベルではない判断した。

分 類	回答数	比率
好評意見	16	48.5%
改善要望	6	18.2%
その他	3	9.1%

※重複回答あり

<改善要望のコメント>

- 環境計量士の職務・仕事、計量管理に直結するテーマが少なかった（2件）
- 研修テキストは前のように、のり付けの冊子の方がよい（書き込みしやすい）
- 午前中に5分程度の小休止がほしかった
- 一つの講演の時間が短い。
- 講師の方が全般的に早口で聞き取りにくかった。時間が足りないのではないかと

<その他のコメント>

- 騒音計と精度管理については、現在の具体的な内容について伺いたかった
- 賛助会員さんの説明は走りすぎていて、あまり参考にならなかった
- 雰囲気や硬い感じがする。もう少し軟らかくしたい

2-2-2 Q.2 来年度も本研修会を開催する予定ですが、ご希望がありましたらお書き下さい。

Q.2-1 テーマ

例年の傾向と大きな変化はなく、法令の分析技術の動向、新情報の提供が期待されている。

内 容	回答数
法令・規制の改正動向	12
環境行政、動向	2
分析技術関係及びその動向等	4
精度管理、計量管理	2
専門技術分野 _ 騒音・振動・低周波音関係	2
同 _ 悪臭関係	1
同 _ 水質関係	1
基礎的事項（機器分析の再学習）	1
その他（タイムリーな話題、実務に関連した内容、火山の噴火・有毒ガス）	3

※ 重複回答あり

<代表的なコメント・意見>

- 環境行政等についての動向・最新情報、規制を巡る県、国の動向等
- 水道法関係の内容
- 適切な計量管理を行うための手法について
- 環境計量士としての日々の業務にもっと直結した内容のもの
例) 排水分析。ICP の種類と管理、測定方法等。JIS の各種測定方法の説明や注意事項等
- 環境測定に関する研究・調査の紹介
- 水質関係の内容
- 愛知県環境部からの法規制・改正がメインの研修会（管理スタッフ向け）
分析の最新機器の紹介及び分析相談の研修会（第一線の分析研究者向け）
- 高濃度の特定悪臭物質の測定について、バック捕集による吸着減衰について
- 低周波騒音の動向
- 火山の噴火、有毒ガス防止

Q.2-2 会場

今回と同じと特になし等を合わせて約 88%。市民会館で問題はない判断される。

場 所	回答数	比率
今回と同じ（金山）	12	36.4%
名駅周辺	5	15.2%
特になし 及び 未回答	17	51.5%

※ 重複回答あり

Q.2-3 開催時期

今回と同じ時期との回答は多くなかったが、特になし・未回答を含め、他の時期を要望する意見は寄せられておらず、通例の 11 月開催で問題はない判断される。

時 期	回答数	比率
今回と同じ時期（11 月）（10 月以降）	7	21.2%
その他（月末、週末、土日、業界の業務閑散期）	5	15.2%
特になし 及び 未回答	21	63.6%